質 疑 回 答 書

工事名称　　岡山市旧本庁舎解体撤去工事

契約番号　　2026041966-10

NO1

番号	数量総括表	図面番号等	質 疑 事 項	回　答
1	解体撤去工事「1階ｽﾗﾌﾞ切断」	A-002 特記3-②、工事種目表、A-173～175 解体手順図⑤～⑦、A-179 解体要領図4	特記仕様書3-②「基礎等：捨てコンクリートまで撤去」とありますが、工事種目では庁舎棟「地下躯体は残置」、解体要領図4では「地下1・2階はRC・CBを除き撤去、ピットに高流動化土注入」となっています。捨てコンクリートまで撤去する対象は、ポンプ室・自転車置場・受水槽置場など付属建物と外構の基礎に限るという理解でよろしいでしょうか。 また、1階スラブについて併せてご教示ください。 ①解体要領図・解体手順図では「地下躯体（1F床含む）残置」とされる一方、数量総括表には「1階スラブ切断（西側高層棟）ロードカッターによる切断 外部 t230～280 L=255m」が計上されています。この切断の目的と範囲（切断位置を示す図面）をご教示ください。 ②残置する1階スラブの外周をどこで切断するのか（地下外壁の外面位置か、通り芯か）、また地下のない部分の1階スラブ・土間・基礎梁は撤去するのか（撤去する場合は捨てコンクリートまでか）をご教示ください。	捨てコンクリートまで撤去する対象はご理解のとおりです。 1階スラブについては次のとおりです。 ①1階スラブ切断は、犬走りを撤去するため地下躯体と縁切りのために行います。切断位置については別紙1を確認してください。 ②1階スラブは地下外壁の外面で切断してください。地下に躯体がない箇所は捨てコンクリートまで撤去してください。
2		A-002 特記3-③	特記仕様書3-③「杭の解体」で、引抜き工法・破砕工法のいずれも選択されていません。庁舎棟・付属建物とも既存杭は残置するという理解でよろしいでしょうか。	庁舎棟・ポンプ室・受水槽置場の杭は残置です。
3		現場説明書22項、A-002 特記1-⑪	地下躯体（1階床を含む）・既存杭を存置するにあたり、現場説明書22項の「既存地下工作物の取り扱いに関するガイドライン（日建連）」に基づく存置物の記録（位置・範囲を示す図面等）を受注者が作成するのか、また完成図（配置図）への記載範囲をご教示ください。	現場説明書P11の30.竣工図等の提出として、受注者で作成してください。 また、完成図（配置図）への記載範囲は、設計図書や現地確認結果を基に存置する躯体・杭の規模、構造、仕様、位置を記載してください。
4	別紙00-0017	A-002 特記6-④・⑦	数量総括表 別紙00-0017の天井吹付材（地下1階西階段・3階議場傍聴席用階段ロビー・7階大会議室の「天井ひる石」計245㎡）が、除去工法「集塵装置付きグラインダーケレン」で計上されています。ひる石吹付けはレベル1の吹付け材（岡山市環境保全課確認済み）であるため、特記6-④（解体共通仕様書6.3.2：隔離・負圧による除去）で施工する理解でよろしいでしょうか（B1階平面図A-024等では同箇所に「隔離・負圧養生」が図示されています）。その場合、隔離養生・負圧除じん装置・作業届出の費用は計上の対象となるでしょうか。	特記6-④（解体共通仕様書6.3.2：隔離・負圧による除去）で施工する理解でよいです。 隔離養生・負圧除じん装置は工事数量総括表のP69、70の「飛散防止費」に含まれます。届出については、申請手数料は不要です。届出に必要な資料は、受注者の負担にて作成してください。
5		A-002 特記1-⑥・6-②	事前調査（特記1-⑥）や分析調査（特記6-②）の結果、設計図書に記載のない石綿含有建材が判明した場合や、含有と想定していた建材が非含有だった場合、除去費用・処分費は設計変更の対象と考えてよろしいでしょうか。	必要に応じて、岡山市工事請負契約約款第18条(条件変更等)に基づき協議の対象とします。

番号	数量総括表	図面番号等	質疑事項	回答
6	15頁 石綿除去工事・68～70頁(別紙00-0055・00-0016・00-0017)	M-012・M-013 撤去数量表(5)(6)(設計図面_22.pdf p.13～14)	機械設備図の撤去数量表(5)(6)(M-012・M-013)には、配管成形エルボ(保温材)、配管フランジ(ガスケット)、ダクトフランジ(パッキン)が、製造期間による判定でアスベスト含有として、工事区分「建築工事」で記載されています。一方、数量総括表の石綿除去工事(別紙00-0055・00-0016・00-0017)には、石綿含有ダクトパッキンの撤去および配管エルボ(保温材)の撤去が見込まれておりません。事前調査・分析調査の結果、これらの石綿含有が判明した場合は、撤去・処分費用(グローブバッグ工法等)を別途(設計変更の対象)と考えてよろしいでしょうか。	石綿含有ダクトパッキンの撤去および配管エルボ(保温材)の撤去については、設計図(M-012・M-013)を正としてください。 撤去費について、工事数量総括表へ見込むべきところ計上漏れですが、工事数量総括表のとおり積算してください。岡山市工事請負契約約款第18条(条件変更等)に基づき協議の対象とします。 なお、石綿含有ダクトパッキンおよび配管エルボ(保温材)の処分費については、工事数量総括表の「とりこわし発生材処分 非飛散性アスベスト類」に見込んでいます。
7	発生材処理・別紙00-0093	A-002 特記5-⑤	特記仕様書5-⑤「廃油の処理」は「行わない」が選択され、タンク内部の清掃も「行わない」となっています。一方、数量総括表では廃油の運搬17.7m³・処分15.9tと重油タンク(23m³・5m³)の撤去が計上されています。残油の抜取り・処分とタンク清掃の要否をご教示ください。	重油タンク内の残油の抜取り・処分及びタンク内の清掃は、市で実施します。廃油の運搬・処分費は工事数量総括表に見込むべきではないところ、計上していますが、工事数量総括表のとおり積算してください。岡山市工事請負契約約款第18条(条件変更等)に基づき協議の対象とします。
8	16頁(細目別内訳)・90頁(別紙00-0093)	A-162 オイルタンク図(設計図面_7.pdf p.3)	地下オイルタンク撤去に伴う鋼矢板について、以下の3点をご教示ください。 ①数量総括表 別紙00-0093の「山留 シートパイルⅣ型 圧入工法程度 259㎡」は、重油タンク撤去のための仮設山留め(撤去後に引抜き)という理解でよろしいでしょうか。頭部切断後の埋殺しではないという理解でよろしいでしょうか。 ②オイルタンク図(A-162)には、既設鋼矢板について「SP-Ⅲ型、サイレントパイラー工法〔頭部切断後埋殺し－将来再利用〕」と記載されています。既設のⅢ型鋼矢板は、現在も頭部切断後埋殺しの状態で存在しているのでしょうか。また、数量総括表に引抜きの項目がないため、既設Ⅲ型鋼矢板は残置するという理解でよろしいでしょうか。 ③新設するⅣ型鋼矢板は、既設Ⅲ型鋼矢板と干渉しない位置に打設するという理解でよろしいでしょうか。干渉する場合の対応(既設鋼矢板の利用、撤去等)が必要となった場合は、設計変更の対象と考えてよろしいでしょうか。	①「山留 シートパイルⅣ型 圧入工法程度 259㎡」は、既存山留めの引抜きを計上しており、新設山留めを施工するものではありません。名称と数量が誤記であり、「既存山留 シートパイルⅢ型 圧入工法引抜 168㎡」が正しいですが、工事数量総括表のとおり引抜(山留 シートパイルⅣ型 圧入工法程度 259㎡)として積算してください。岡山市工事請負契約約款第18条(条件変更等)に基づき協議の対象とします。 ②既存山留 シートパイルⅢ型は存在しています。重油タンク撤去後に引抜きを行ってください。引抜費用は①の回答のとおり積算してください。 ③①の回答のとおり、新設山留めは施工不要です。
9	14頁(細目別内訳)・67頁(別紙00-0091)	M-121～123 受水槽図(設計図面_32.pdf)	ポンプ室・受水槽置場撤去の鋼矢板打抜きについて伺います。数量総括表 別紙00-0091(ポンプ室・受水槽置場撤去)には「矢板打抜費 1式」「同上運搬費 1式」「同上荷降積込費 1式」が計上されていますが、設計図書に鋼矢板の仕様が見当たりません。設計上の仕様(型式、長さ、枚数または延長、位置、打抜き工法、打抜き後の空隙の処理方法)をご教示ください。また、打ち抜く鋼矢板の位置・範囲を示す図面があればご提示ください。	設計上の仕様は下記のとおりです。 鋼矢板型式:シートパイルⅢ型 長さ(深さ):9.5m 延長:20m 位置:図面はありませんが、受水槽の東、西、南の設置を見込んでいます。 打抜き工法:圧入工法 打ち抜き後の空隙処理方法:砂による水締めを想定してください。砂による水締め費用について、工事数量総括表へ見込むべきところ計上漏れですが、工事数量総括表のとおり積算してください。岡山市工事請負契約約款第18条(条件変更等)に基づき協議の対象とします。

番号	数量総括表	図面番号等	質疑事項	回答
10	共通仮設費(積上)ダイオキシン調査費	A-002 特記5-⑦、建具表 SD8(地下2階焼却炉室)	特記仕様書5-⑦で、ダイオキシン類は「密閉養生の上洗浄」とされていますが、数量総括表には調査費(2箇所)と煙道断熱材の石綿除去のみが計上され、焼却炉本体・煙道・煙突の解体と、密閉養生・洗浄の費用が見当たりません。対象範囲(焼却炉室・煙突)と、費用がどの項目に含まれているかをご教示ください。また、サンプリング調査で基準値を超えた場合の対策費は設計変更の対象でしょうか。	焼却炉本体と煙道、煙突の解体費は、「地上部躯体解体」で見込んでいます。特記仕様書5-⑦のダイオキシン類の「密閉養生の上洗浄」は誤記であり、サンプリング調査後にダイオキシンが基準値を超えた場合に密閉養生の上洗浄を実施してください。なお、密閉養生の上洗浄を行う場合は、岡山市工事請負契約約款第18条(条件変更等)に基づき協議の対象とします。
11	共通仮設費(積上)ダイオキシン調査費	A-002 特記5-⑦、建具表 SD8(地下2階焼却炉室)	上記において、調査の結果、対応を行う必要が生じ工期に影響が及んだ場合、設計変更の対象でしょうか。	必要に応じて、岡山市工事請負契約約款第18条(条件変更等)に基づき協議の対象とします。
12	機械設備	A-002 特記7-①、M図 注記1	特記仕様書7-①と機械設備注記1ではフロン類の回収(パッケージ形空調機・ルームエアコン・冷凍機)と報告書類の提出が求められていますが、数量総括表にフロン回収費の項目が見当たりません。機器撤去費に含まれているという理解でよろしいでしょうか。R22機器が多数あるため、回収量の想定もご教示ください。	フロン回収費について、工事数量総括表へ見込むべきところ計上漏れですが、工事数量総括表のとおり積算してください。 岡山市工事請負契約約款第18条(条件変更等)に基づき協議の対象とします。
13		M図 注記2	機械設備注記2で、家電リサイクル法対象のルームエアコンは「取外しの後、指定場所に移動(処分別途)」とされています。指定場所(敷地内か、場外か)と台数をご教示ください。	指定場所は敷地内を想定しています。 台数は、設計図(M-004～M-006)に記載のとおり、3F1組、4F1組、9F1組です。
14		A-002 特記5-①～④、E-001 撤去工事特記事項、現場説明書25項	微量PCBの分析(簡易検体法90検体、シーリング5箇所)の結果、PCB含有が判明した場合について伺います。電気図E-001では「PCB廃棄物の処分は市が別途」とされていますが、それまでの保管場所の確保、保管期間中の管理、場内の移動、および含有シーリング材の除去範囲が増えた場合は、設計変更の対象となるでしょうか。	PCB含有が判明した電気設備機器及びシーリング材の保管場所は、岡山市保健福祉会館を想定しています。保管期間中の管理は市が行います。保管場所へは本工事での移動を想定しており、必要に応じて岡山市工事請負契約約款第18条(条件変更等)に基づき協議の対象とします。 またPCB含有シーリング材について、除去範囲が増えた場合は必要に応じて、岡山市工事請負契約約款第18条(条件変更等)に基づき協議の対象とします。
15	別紙00-0063・00-0331	A-002 特記3-⑦	高流動化土(地下躯体内の計21,231m³)について伺います。①材料は購入品(プラント製造)を想定しているのか、現場発生土の流用も可能か。②特記3-⑦の強度試験「土質が変わる毎」の試験回数の想定。以上2点をご教示ください。	①高流動化土は購入品(プラント製造)を見込んでおり、現場発生土の流用については、想定していません。 ②試験回数は151回です。
16		現場説明書19項、A-169～175 解体手順図	現場説明書19項に「設計図の仮設計画図は、指定仮設を除き参考とする」とあります。指定仮設に当たるものをご教示ください(例:防音パネルとデザインシート780枚、仮囲いH3.0m、8・9階・地下1階のサポート、交通誘導員1,350人など)。	デザインシート、振動計・騒音計、交通誘導員は指定仮設です。それ以外は指定仮設ではありません。

番号	数量総括表	図面番号等	質疑事項	回答
17	共通仮設費（積上）別紙00-0045	S-210 床版配筋表、S-331 材料使用区分	共通仮設費（積上）の「階上解体用サポート 8・9階 4,000㎡」「地上解体用サポート 1Fスラブ（地下1階内）4,800㎡」について、積算上の条件（サポートの種類〔パイプサポート／強化サポート〕、設置ピッチ、層数、供用期間、想定している解体重機のクラス）をご教示ください。既存スラブは厚さ110mm程度・丸鋼配筋（S-210、S-331）で、使用重機によりサポートの仕様が大きく変わるため確認させてください。	「階上解体用サポート 8・9階 4,000㎡」は以下の条件で見込んでいます。 サポートの種類：強力サポート 設置ピッチ：4㎡/か所 層数：2層（8階,9階） 供用期間：2.0か月 解体重機クラス：0.45㎥級（ロングアーム） 「地上解体用サポート 地下1階 4,800㎡」は以下の条件で見込んでいます。 サポートの種類：強力サポート 設置ピッチ：2㎡/か所 層数：1層（地下1階） 供用期間：4.0か月 解体重機クラス：3.0㎥級 なお、工事数量総括表の「地上解体用サポート 地下1階 4,800㎡」は誤記であり、正しい数量は3,000㎡ですが、工事数量総括表のとおり積算してください。岡山市工事請負契約約款第18条(条件変更等)に基づき協議の対象とします。
18	共通仮設費（積上）揚重機費 別紙00-0140・00-0045	A-179 解体要領図4（ペントハウス解体〔階上解体〕）、A-037 断面図	塔屋（PH1～PHR、RFL＋0.6m～PHRFL GL+43.85m）の解体について、積算上の施工方法の想定をご教示ください。①解体重機は屋上（RF）に設置して塔屋を解体する想定か、塔屋上部（PHR・PH3FL）へ揚重する想定か。②塔屋各階（PH1～PH3）へのサポートは計上されていないという理解でよいか。③揚重機（ラフタークレーン35t・70t 約100日）は解体重機の揚重を含む想定か。施工計画により塔屋上部へ重機を揚重する場合、塔屋各階のサポート・大型クレーンの費用は受注者の負担という理解でよろしいでしょうか。	①解体重機は屋上(RF)に設置し、塔屋を解体する想定です。 ②塔屋各階（PH1～PH3）へのサポートは計上していません。 ③解体重機の揚重は揚重機（ラフタークレーン100t）による一括揚重を想定しています。解体重機の揚重費用について、工事数量総括表へ見込むべきところ計上漏れですが、工事数量総括表のとおり積算してください。岡山市工事請負契約約款第18条(条件変更等)に基づき協議の対象とします。施工計画により塔屋上部へ重機を揚重する場合、塔屋各階のサポート・大型クレーンの費用は受注者の負担という理解でよろしいです。
19	共通仮設費（積上）揚重機費 別紙00-0140（総括表200頁）、細目別内訳「重機改回送」（19頁）	A-179 解体要領図4、A-037 断面図	階上解体用重機の屋上への揚重についてご教示ください。共通仮設費（積上）の揚重機費（別紙00-0140）にはラフタークレーン70t（約100日）が計上されていますが、70t級ラフタークレーンで屋上（RFL GL+33.55m、外部足場・防音パネル越え）へ解体重機（0.45m³級、運転質量約14t）を揚重するには、作業半径・揚程の関係から重機を分解して揚重し、屋上で組み立てる必要があると考えます。数量総括表には重機の分解・組立費（揚重後の組立、解体完了後の分解・吊下し）が見当たりませんが、どの項目に含まれているのでしょうか。含まれていない場合、計上の対象としてよろしいでしょうか。あわせて、積算上想定している解体重機の機種（クラス）と揚重方法（一括揚重／分解揚重）、揚重回数をご教示ください。	No.18③の回答を参照してください。

番号	数量総括表	図面番号等	質疑事項	回答
20	共通仮設費(積上)別紙00-0147・00-0421(総括表199・200頁)、別紙00-0045階上解体用サポート	S-210 床版配筋表	屋上(RF)および重機の走行・作業範囲の床に敷く敷鉄板養生の計上についてご教示ください。共通仮設費(積上)の敷き鉄板損料は「≒200㎡(3か月以下)」(別紙00-0147)と「≒80㎡(24か月以下)」(別紙00-0421)の計上で、いずれも地上のクレーン据付・車両出入口用と考えられ、屋上の敷鉄板(揚重・組立位置および重機の移動範囲、敷鉄板5×20を小梁に直交して敷設)とその揚重・盛替え費用が見当たりません。屋上の敷鉄板養生はどの項目に含まれているのでしょうか。含まれていない場合、計上の対象としてよろしいでしょうか。	屋上の敷鉄板養生は不要と考えています。
21	13頁(細目別内訳)・62頁(別紙00-0090)	A-032 PH1～PHR階平面図(パラボラアンテナ・シェルター)	屋上(RF)のパラボラアンテナおよびシェルターの撤去について伺います。数量総括表 別紙00-0090には「パラボラアンテナ 4.5mφ 1基」「シェルター 3m×2m×2.5m ユニット 1台」が計上されていますが、重量の記載がありません。吊下しに使用する揚重機の選定のため、パラボラアンテナ本体・架台、シェルター、および付属機器の重量をお示しください。あわせて、積算上想定している撤去方法(一括吊下し／分解撤去)をご教示ください。	パラボラアンテナ本体の重量は約3tです。シェルター(付属機器共)は約4tです。これらは積算上、一括吊下しで見込んでいます。 また、架台は鉄骨を組み合わせたものであるため、積算上は建物躯体と一緒に撤去を見込んでいます。
22	解体撤去工事「エレベーター解体 4基」	A-169～172 解体手順図①～④、現場説明書9項・19項	エレベーター(4基)が稼働している状態で解体作業に着手することは可能でしょうか。階上解体の準備(屋上・9階・8階への資機材の搬入、解体用サポートの設置、内装・設備撤去、石綿除去等)の資機材・人員の昇降にエレベーターを使用したいと考えます。可能な場合、使用できる期間(停止・撤去の時期)、保守契約・昇降機検査・電気料金の扱い、使用時の養生範囲をご教示ください。また、エレベーター解体(4基)は数量総括表に計上されていますが、撤去の時期・順序に指定はあるでしょうか。	令和9年3月31日に旧本庁舎の受電を廃止する予定です。その後、直ちにエレベーターの廃止届を提出する想定です。エレベーターを使用したい場合は、法令を遵守し、受注者の責任及び費用負担にて使用をご検討ください。 また、エレベーター撤去の時期・順序に指定はありません。
23	69～70頁(別紙00-0017)	A-120 煙突図1・A-121 煙突図2(設計図面_5.pdf p.1～2)、仕上表(地下2階 煙突断熱材)	煙突・煙道の内張り材の石綿含有についてご教示ください。仕上表には「地下2階煙突断熱材はアスベスト含有」と記載されていますが、数量総括表の石綿除去工事(別紙00-0017)には「(6)焼却炉 煙道断熱材 φ400 19.0m」のみが計上されています。①塔屋上の煙突(煙突図2 A-121:内張り「ゾノライト系珪酸カルシウム成形品」)、②地下2階から塔屋まで建物内を縦に通る煙道の内張り・断熱材(煙突図1 A-120)は、石綿含有の分析・除去の対象となるのでしょうか。対象となる場合の数量・除去工法(レベル区分)と計上箇所をご教示ください。また、分析の結果、含有が判明した場合は設計変更の対象と考えてよろしいでしょうか。	仕上表の「地下2階煙突断熱材はアスベスト含有」は誤記であり、正しくは、「地下1階煙道断熱材はアスベスト含有」です。 ①煙突図2 A-121:内張り「ゾノライト系珪酸カルシウム成形品」はアスベスト採取分析をしてください。アスベスト採取分析費について、工事数量総括表へ見込むべきところ計上漏れですが、工事数量総括表のとおり積算してください。アスベスト採取分析費用およびアスベスト含有が判明した場合の石綿除去費用については、岡山市工事請負契約約款第18条(条件変更等)に基づき協議の対象とします。 ②地下2階から塔屋まで建物内を縦に通るのは煙道ではなく煙突であり、地下1階から1階の間で煙突に接続する煙道があります。その煙道の内側には断熱材はありませんが、外側へ断熱材がありアスベスト分析済みです。本工事での分析は不要であり、除去工事の数量及び除去工法は、工事数量総括表の「天井吹付材撤去 (6)焼却炉」のとおりです。工事数量総括表のとおり積算してください。
24	13頁 解体撤去工事「ペントハウス解体」	A-121 煙突図2(設計図面_5.pdf p.2)、A-037 断面図	塔屋屋上(PHR)上の煙突(約2.36m角、頂部PRFL+4,500＝GL約+48.4m、鉄骨造H-200×200柱・SUS304パネル張り、煙突図2 A-121)の解体についてご教示ください。頂部が解体重機の作業範囲を超えるため、足場を設置のうえ外装パネル撤去・内張り撤去・鉄骨ガス切断による人力解体が必要と考えます。数量総括表には煙突解体(足場・人力解体・鉄骨切断・発生材の吊下し)の独立した項目が見当たりませんが、「ペントハウス解体(階上解体)507m³ 鉄骨切断共」(総括表13頁)に含まれているという理解でよろしいでしょうか。含まれていない場合、計上の対象としてよろしいでしょうか。	塔屋屋上の煙突解体については、0.45㎥級(ロングアーム)による重機解体を想定しており、人力解体を不要と判断しています。足場・鉄骨切断・発生材の吊下しは「ペントハウス解体(階上解体)507m³ 鉄骨切断共」に含みます。

番号	数量総括表	図面番号等	質疑事項	回答
25	共通仮設費(積上)別紙00-0044	現場説明書11項	交通誘導員は「延べ1,350人以上、必要に応じて増員」とされています。警察協議などで増員が必要となった場合は、設計変更の対象と考えてよろしいでしょうか。	現場説明書に記載のとおりです。ただし、やむを得ない要因で増員が必要となった場合は、岡山市工事請負契約約款第18条(条件変更等)に基づき協議の対象とします。
26		現場説明書9項、A-169 解体手順図①(R9.4～)	現場説明書9項では「令和9年3月31日まで旧本庁舎内で作業(不要物等の搬出)」とされています。契約予定日、現場着手が可能となる日、建物を引き渡される日(全館が空く日)をご教示ください。	契約予定日は令和9年3月中旬頃です。 建物引渡日及び現場着手可能日は令和9年4月1日を予定しています。 なお、契約後、令和9年4月1日以前に現地確認を希望される場合は協議に応じます。
27		A-002 特記2-④、現場説明書19項	工事用水について、特記仕様書2-④では「構内既存の施設を利用できる(有償)」とされていますが、現場説明書19項では「原則として受注者負担にて引き込み、当施設のものを使用してはならない(子メーターを設置する場合を除く)」とされています。既存施設から子メーターで分岐して使用することは可能でしょうか。	現場説明書19項の「当施設のものを使用してはならない。ただし、当施設管理者及び監督員の了解を得て、子メーターを設置して使用する場合はこの限りではない。」は誤記です。「仮設水道については、当施設のものを受注者の負担で使用することは可能です。」に読み替えてください。具体的には旧本庁舎敷地内に休止中の水道メーター(40A×1、25A×2)があり、受注者の負担で工事用水として使用可能です。なお、新庁舎の水道メーター(100A)の二次側から子メーターで分岐して工事用水として使用することは不可です。
28		A-002 Ⅰ-4-2	工事内容4-2で、給水・排水・ガスの閉栓工事は指定工事店が行うこととされていますが、数量総括表に閉栓費(水道局・ガス事業者の手数料を含む)が見当たりません。本工事に含むのか、別途なのかをご教示ください。	水道の閉栓工事はありません。 ガスの閉栓工事は、設計図(M-125)のとおり別途工事です。 排水の取付管撤去及びキャップ止めは、設計図(M-117)のとおり本工事に含みます。費用は、工事数量総括表の11頁屋外撤去工事に含みます。
29		E-001	特高22kVの引込ケーブルは「配線は電力会社にて撤去、配管は本工事」とされています。中国電力による撤去の時期と、受注者の工程上の制約をご教示ください。	電力会社による引込ケーブルの撤去は、令和9年5月～6月までの間の1日程度の作業を予定しています。電力会社による引込ケーブルの撤去が完了するまでは、埋設管路の撤去工事はできません。 本工事の契約後、市・受注者・電力会社での3者協議を予定しています。
30		E-001、A-002 特記1-④、現場説明書12項	分庁舎・新庁舎・保健福祉会館・駐輪場などへ旧本庁舎から供給・経由している電気・通信系統の切り離し(E-001に記載)について、切替えの時期、停電・休日・夜間作業の要否、施工時間帯(8:30～17:00)の例外の扱いをご教示ください。	電気・通信系統の撤去について、停電作業・休日作業・夜間作業は想定していません。作業時期については契約後、現場説明書12.施設管理者等との連絡協議のとおり協議により決定します。
31	別紙00-0076～0080		「新庁舎北側外部清掃」(足場685㎡、ガラス清掃685㎡、高所作業車による軒裏535㎡)の対象範囲を示す図面と、実施時期(解体完了後に1回か)をご教示ください。	A-167、168が対象範囲を示す図面です。実施時期は、解体完了後1回で見込んでいます。

番号	数量総括表	図面番号等	質疑事項	回答
32	共通仮設費(積上)別紙00-0151	A-002 特記2-①	防音パネルに貼るデザインシート(780枚、1,790×850)のデザインデータは市から支給されるのでしょうか。また、デザインの作成や協議は受注者の負担でしょうか。	デザインデータの支給はありません。本工事にデザインの作成費を見込んでおり、受注者負担となります。
33	別紙00-0022	A-002 特記3-⑤	特記仕様書3-⑤で「樹木の伐採抜根及び移植:行う(図示)」が選択されていますが、数量総括表には伐採・伐根のみが計上されています。移植する樹木の有無をご教示ください。	樹木の伐採伐根はありますが、移植する樹木はありません。
34	別紙00-0092	A-024・A-025平面図注記、A-002 特記1-⑧	メモリアル品(記念プレート、食堂の備前焼大判タイル44枚)は、平面図に「保存先は新庁舎内とし現場指示とする」とあります。新庁舎内での搬入先・搬入経路・時期(執務時間外か)と、特記1-⑧「引渡しを要するもの(図示)」に該当するその他の品目をご教示ください。	記念プレート、備前焼大判タイルは敷地内指定場所まで運搬してください。搬入経路、時期に特に指定はありません。特記1-⑧「引渡しを要するもの(図示)」に該当するものは記念プレート、備前焼大判タイル以外は想定していません。
35	外構解体別紙00-0093		解体・外構撤去で掘削面積が3,000㎡以上となる場合、土壌汚染対策法第4条の届出は発注者が行うという理解でよろしいでしょうか。また、地下重油タンクの撤去時などに土壌汚染が判明した場合、その対応は別途と考えてよろしいでしょうか。	土壌汚染対策法第4条の届出は発注者で行います。地下重油タンクの撤去時など土壌汚染が判明した場合は必要に応じて、岡山市工事請負契約約款第18条(条件変更等)に基づき協議の対象とします。
36		現場説明書10項	家屋調査(隣接6件)は市が実施するとのことですが、工事完了後の事後調査も市が実施されるのでしょうか。	家屋調査(隣接6件)は事後調査も市が実施します。
37		A-002 特記1-⑨	特記仕様書1-⑨「施工数量調査(図示)・調査報告書2部」について、対象となる調査範囲と調査方法をご教示ください。	特記仕様書1-9の施工数量調査は〇印がないため、今回適用外です。
38	発生材処理	A-002 特記4-①、現場説明書21項	特記仕様書4-①で、ひ素・カドミウム含有石膏ボードは「埋立処分(管理型)」とされていますが、処分施設名が空欄です。積算上の処分先と運搬距離の条件をご教示ください(現場説明書21項の再資源化施設以外の品目、がれき類60km・非飛散性アスベスト60kmなども同様)。	特記仕様書4-①で、ひ素・カドミウム含有石膏ボードの〇印は誤記です。 せっこうボードは石綿含有せっこうボードとして積算をしており、倉敷市水島地内の最終処分場施設での処分費と運搬費を見込んでいます。運搬距離については、工事数量総括表の「とりこわし発生材運搬 非飛散性アスベスト類」のとおりです。 また、がれき類・非飛散性アスベストは倉敷市水島地内の最終処分場施設での処分費と運搬費を見込んでいます。運搬距離については、工事数量総括表の「とりこわし発生材運搬 がれき類」のとおりです。

番号	数量総括表	図面番号等	質疑事項	回答
39		現場説明書5項	現場説明書5項の部分使用・部分引渡し表に「▲▲▲棟」「△△△△棟」の雛形記載が残っています。本工事に部分使用・部分引渡しはないという理解でよろしいでしょうか。	よろしいです。
40		現場説明書40項	現場説明書40項に「別途発注の建築主体工事（岡山市〇〇〇〇工事）の入札が成立しなかった場合は本入札を中止」との記載があります。この条項は本工事に適用されるのでしょうか。	適用しません。
41		現場説明書18・24・28・31・32・38項	現場説明書のうち、新築・改修工事向けの次の項目は本工事には適用しない（提出不要）という理解でよろしいでしょうか：18 鉄骨製作工場、24 室内空気中化学物質濃度測定、28 完成写真（内部各室2枚以上）、31 予備品の納入、32 経年点検（1年後・2年後）、38 地元企業製配電盤。	よろしいです。 18 鉄骨製作工場、24 室内空気中化学物質濃度測定、28 完成写真（内部各室2枚以上）、31 予備品の納入、32 経年点検（1年後・2年後）、38 地元企業製配電盤の適用はありません。
42		E-178	再資源化の観点から、屋上の太陽光パネルについて、処分方法及び処分先についてご教示ください。	設計では岡山市南区藤田地内の中間処理施設への持ち込みを見込んでいますが、再資源化に際し、処分方法や処分先は指定しません。
43			地盤調査資料（地下水位情報含む）について提示ください。	別紙2 ボーリング柱状図を提示します。
44			ダイオキシン調査資料について提示ください。	事前調査は実施していません。設計図（A-007）に記載のとおり、本工事でダイオキシン調査を実施してください。
45			アスベスト事前調査報告書（分析結果、数量、サンプル位置）について提示いただけますでしょうか。	契約後、受注者に資料を提示します。
46		A-037	地下ピットや二重スラブにおいて滞留水の有無についてご教示ください。 また、滞留水が認められる場合、処理方法は下水放流とし、変更対応と考えてよろしいでしょうか。	地下ピット等の滞留水は、工事開始前までにすべて排水・処理するため、原則として存在しないものと想定しています。ただし、工事着手後に滞留水が確認された場合は、関係法令に基づき、公共下水道へ適切に放流してください。必要に応じて、岡山市工事請負契約約款第18条(条件変更等)に基づき協議の対象とします。
47			埋設油タンク、焼却炉まわりの土壌汚染調査については、発注者が行う理解でよろしいでしょうか。 また、汚染が認められた場合、追加工事としての取り扱いでよろしいでしょうか。	工事敷地内において、土壌汚染対策法に基づく土壌汚染調査を実施済みです。なお、汚染が判明した場合は、必要に応じて、岡山市工事請負契約約款第18条(条件変更等)に基づき協議の対象とします。

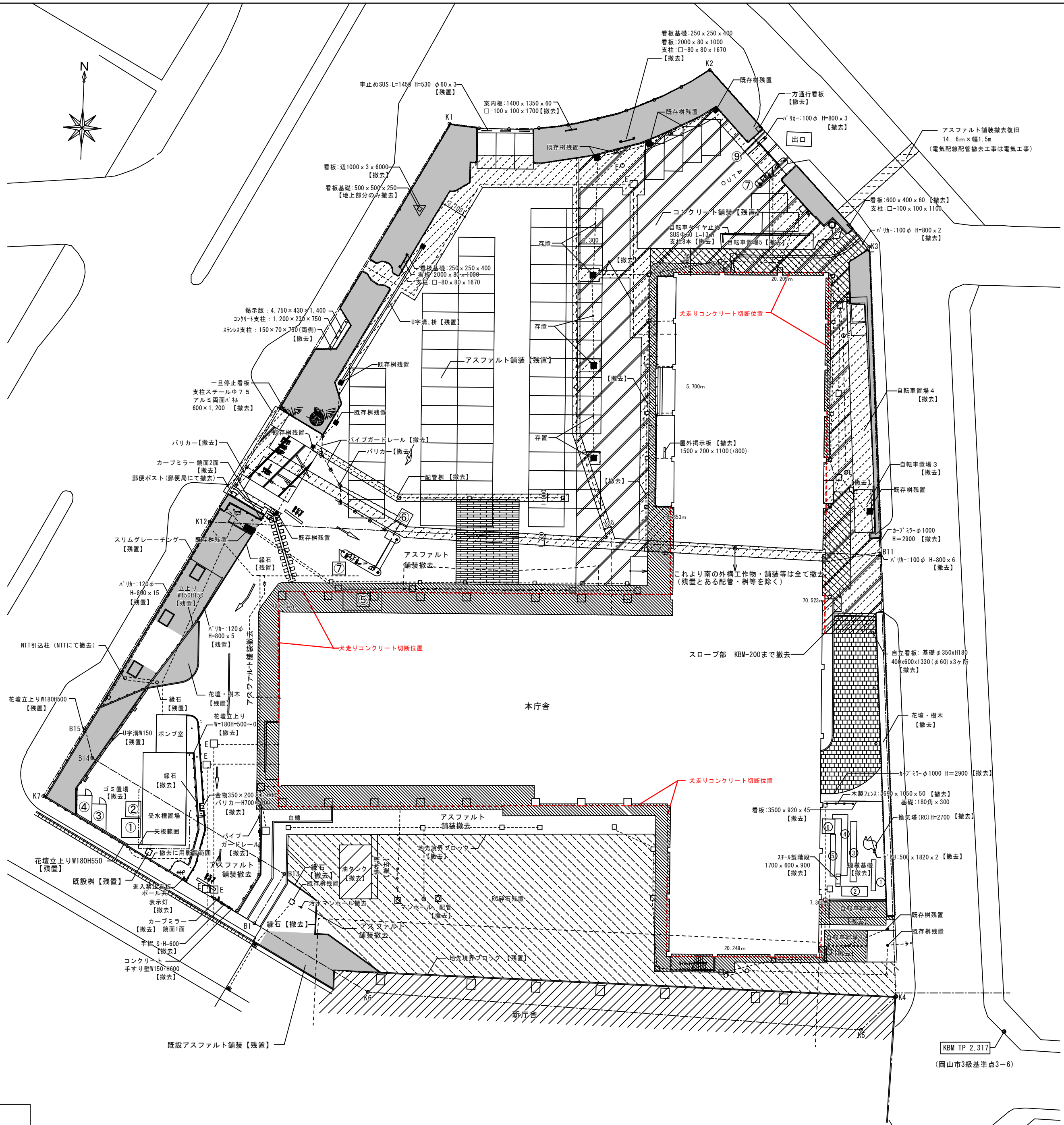
番号	数量総括表	図面番号等	質疑事項	回答
48		A-024	食堂の備前焼大判タイル44枚の切り取り保存とありますが、破損の可能性がございます。慎重に作業を行いますが、万が一破損した場合の責任についてどのようにお考えでしょうか。 もし、破損について一切認められない場合は美術品などを取り扱う専門業者へ別途発注いただくことは可能でしょうか。	慎重に作業をお願いします。責任の所在については、契約後タイルの状態や施工方法を基に協議により決定します。また、施工方法については契約後、協議することとします。
49			特殊車両を除いた大型車両の入場時間は8:30から入場できるものとし計画致しますが、規制等がある場合はご教示ください。	詳細な入場時間は契約後の協議によります。
50			工程については4週8閉所で計画しております。議会や役所の行事等で作業規制はありますでしょうか。また役所都合により休日作業となる場合、作業内容の制限はありますでしょうか。	作業規制及び休日作業内容の制限は現時点で想定できません。契約後、現場説明書12.施設管理者等との連絡協議のとおり協議により決定します。
51			想定のない地中障害物があった場合は、変更工事対象として取り扱う理解でよろしいでしょうか。	必要に応じて、岡山市工事請負契約約款第18条(条件変更等)に基づき協議の対象とします。
52			今回の工事において、多くの構造物を残置する計画となっておりますが、廃棄物の処理及び清掃に関する法律上の観点から責任の所在についてご教示ください。	「既存地下工作物の取り扱いに関するガイドライン(一般社団法人日本建設業連合会)」に基づいて、地下工作物を有用物と判断し、残置することとしています。
53			高流動化土の打設にあたり、外壁開口や配管貫通部など閉塞箇所の図面や数量をご教示いただけますでしょうか。	地下外壁を貫通している配管については、閉塞してください。閉塞費用について、工事数量総括表へ見込むべきところ計上漏れですが、工事数量総括表のとおり積算してください。岡山市工事請負契約約款第18条(条件変更等)に基づき協議の対象とします。外壁開口については、高流動化土による充填を行うため、閉塞は不要です。
54		Ⅲ入札等の手続きに関する事項　12参加資格確認申請書類等⑥ア	コリンズの写しと同種工事施工実績が確認できる書類(図面)を提出する場合、様式第6号は提出不要でしょうか。	公告Ⅲ入札等の手続きに関する事項　12参加資格確認申請書類等⑥に記載のとおり、ア又はイのいずれかの書類を提出してください。前記⑥アの書類を提出する場合は、様式第6号　施工実績調書の提出は不要です。

番号	数量総括表	図面番号等	質疑事項	回答
55		特定建設工事共同企業体による建設工事の一般競争入札（特別簡易型総合評価落札方式）公告共通事項 14入札保証金及び契約保証金に関する事項	入札保証金に代わる担保として提供できるものとして、西日本建設業保証株式会社の「契約保証の予約」でも宜しいでしょうか。市長が確実と認める金融期間の保証とは具体的にどのようなものでしょうか。 また、入札保証金を免除することができる者は，「開札日の前日から過去3年の間に，本市との間で締結した契約を履行しないこと，本市から契約の相手方とされたにもかかわらず契約を締結しないこと等がなく，契約を締結しないこととなるおそれがないと認められる者」と記載がありますが、判断基準をご教示ください。	入札保証金に代わる担保として提供できるものについては、岡山市契約規則第7条第1項に記載のとおりです。西日本建設業保証株式会社の「契約保証の予約」は入札保証金に代わる担保とすることはできません。市長が確実と認める金融機関の保証とは、落札者が契約を結ばないことによる損害金の支払を金融機関（銀行以外の信用金庫や農業協同組合等）が保証するものを指します。 また、西日本建設業保証株式会社の「契約保証の予約」は入札保証保険契約ではないため入札保証保険契約を締結した者にも該当しません。 入札保証金を免除できる者については、記載のとおりです。判断基準は、開札日の前日から過去3年の間に、岡山市から指名停止や指名留保などの措置を受け、入札保証金納付の対象者となったかどうかです。
56		Ⅳ入札に参加するものに必要な資格に関する事項 11その他④	「各構成員は，一級建築士の免許取得者を有すること。」とありますが、様式第4号のその他公告に定める有資格者の氏名及び資格の種類欄に記載すればよろしいでしょうか。また、配置予定技術者と異なる者を記載する場合、添付書類は何が必要でしょうか。	様式第4号配置予定技術者等調書（入札参加資格確認用）記載方法については、お見込みのとおりです。 添付書類については、様式第4号＜添付書類＞に記載のとおり、(2)本工事で必要とされる技術・資格を証する書面の写し（合格証明書等）(3)雇用の証となる社会保険加入関係書類の写し等（健康保険・厚生年金被保険者標準報酬決定通知書及び雇用保険被保険者資格取得等確認通知書の写し等）※75歳以上の方の場合，雇用証明書（原本）に加え，賃金台帳，後期高齢者医療の資格確認書の写し等、雇用状況が確認できる法定及び公的な書類等です。
57		公告 別表総合評価一般競争入札（特別簡易型）技術評価基準表	入札参加有資格者名簿に支店で登録しておりますが、総合評価評価項目における「岡山市と災害時における防災協力に関する協定書を締結している団体への加入」「岡山市女性が輝く男女共同参画推進事業所認証」について、営業所として認可いただいております。このように参加資格者名簿と認可営業所が別の場合でも加点対象として評価いただけますでしょうか。	総合評価一般競争入札（特別簡易型）技術評価基準表の評価項目「岡山市と災害時における防災協力に関する協定書を締結している団体への加入の有無」「岡山市女性が輝く男女共同参画推進事業所認証取得の有無」について、参加資格者名簿と認可営業所が異なっていても加点の対象となります。
58		公告文Ⅳ	入札に参加する者に必要な資格に関する事項7格付等級及び所属エリア等の市内外業者区分①に該当する者 イ 市外業者の場合の最新の総合評定値が1，120点以上であることとあるが、この総合評定値は「建築一式」の点数でよいか。	お見込みのとおりです。
59		入札価格内訳書	入札価格内訳書において、解体工事の内訳として材料費・労務費と記載がありますが、このうち材料費に含まれる項目についてご教示ください。	岡山市ホームページ（https://www.city.okayama.jp/jigyosha/cmsfiles/contents/0000009/9331/R806_qa.pdf）の「入札価格内訳書の記載内容に関するQA」をご覧ください。材料費については高流動化土や外構の側溝などが対象となります。
60		現場説明書第19項	振動計、騒音計を仮囲いに4箇所設置することとありますが、具体的な設置場所についてご教示ください。	仮囲いに東西南北で各1箇所と考えていますが、仮設計画の中で協議します。

番号	数量総括表	図面番号等	質疑事項	回答
61			数量総括表の路盤砕石160m3はアスファルト舗装(表層t=50　路盤t=150)の下地(路体)と考えたらよろしいでしょうか。	よろしいです。
62			数量総括表のオーバーレイの下地の路盤調整(t=0～100)は、既存表層の上の高さ調整用に構築する路盤として考えたらよろしいでしょうか。	よろしいです。
63			足場の設置期間が270日(9ヵ月)となっておりますが期間が足りないのではないでしょうか。	工事数量総括表の足場設置期間が不足しておりますが、工事数量総括表のとおり積算してください。岡山市工事請負契約約款第18条(条件変更等)に基づき協議の対象とします。
64			足場の設置期間が足りないのではないでしょうか。また、不足している場合、契約工期は延期するものと考えてよろしいですか。	No.63の回答を参照して下さい。なお、公告文及び設計図書に記載している契約工期に変更はありません。
65			北面はすべて足場を設置しないと安全が確保できないのではないでしょうか。	北面からの解体を想定しているため、足場を見込んでおりません。
66			足場から躯体までのはなれが1mをこえるところがありますがどのようにして壁つなぎを設置すればよろしいでしょうか。	契約後、足場仮設計画図を作成のうえ、施工方法の検討をお願いします。
67			地上解体用、階上解体用サポートの設置寸法、使用部材はどのように考えればよろしいでしょうか。	No.17の回答を参照して下さい。
68			7階にも階上解体用サポートの設置が必要ではないでしょうか。	No.17の回答を参照して下さい。
69			地上解体用、地下1階内サポートの設置数量が少ないようですが、どこの範囲に設置する計画でしょうか。	No.17の回答を参照して下さい。

番号	数量総括表	図面番号等	質疑事項	回答
70			煙突に足場を設置する必要があるのではないでしょうか。	No.24の回答を参照して下さい。
71			工事数量総括表のイメージアップシート張り780㎡の詳細をご指示下さい。	防音パネルへマットラミネート加工した糊付き塩ビシートを貼る想定としています。
72			工事数量総括表の防音パネル販売は新品材料で考えればよろしいでしょうか。	中古品でもよろしいです。
73			クレーン台数が35t70t計200台ですが少ないのではないでしょうか。	足場組立・解体、大型機器類の組立・搬出を200日見込んでいます。
74			施工数量の実数清算としていただけるのでしょうか。	現場説明書2.工事数量総括表の取扱いについてのとおりです。
75		現場説明書1項	現場説明書1項の設計図書の優先順位(2)現場説明書(現場説明書:表紙、1～29頁)と記載がありますが、5頁までしかありません。6頁以降をお示しください。	令和8 年11 月10 日に、岡山市ホームページ「入札情報[建設工事]-重要なお知らせ」に掲載のとおり、設計図書の「現場説明書」に不備があったため、令和8年11月10日に差替えております。一般競争入札一覧にてご確認ください。
76			本工事敷地の開発申請等は申請済みと考えてよろしいでしょうか。	本工事の敷地の一部は開発協議済みです。また、建築基準法における仮使用認定を受け、仮使用期間中のため、仮設計画について関係部署(本市建築指導課)と事前協議が必要です。

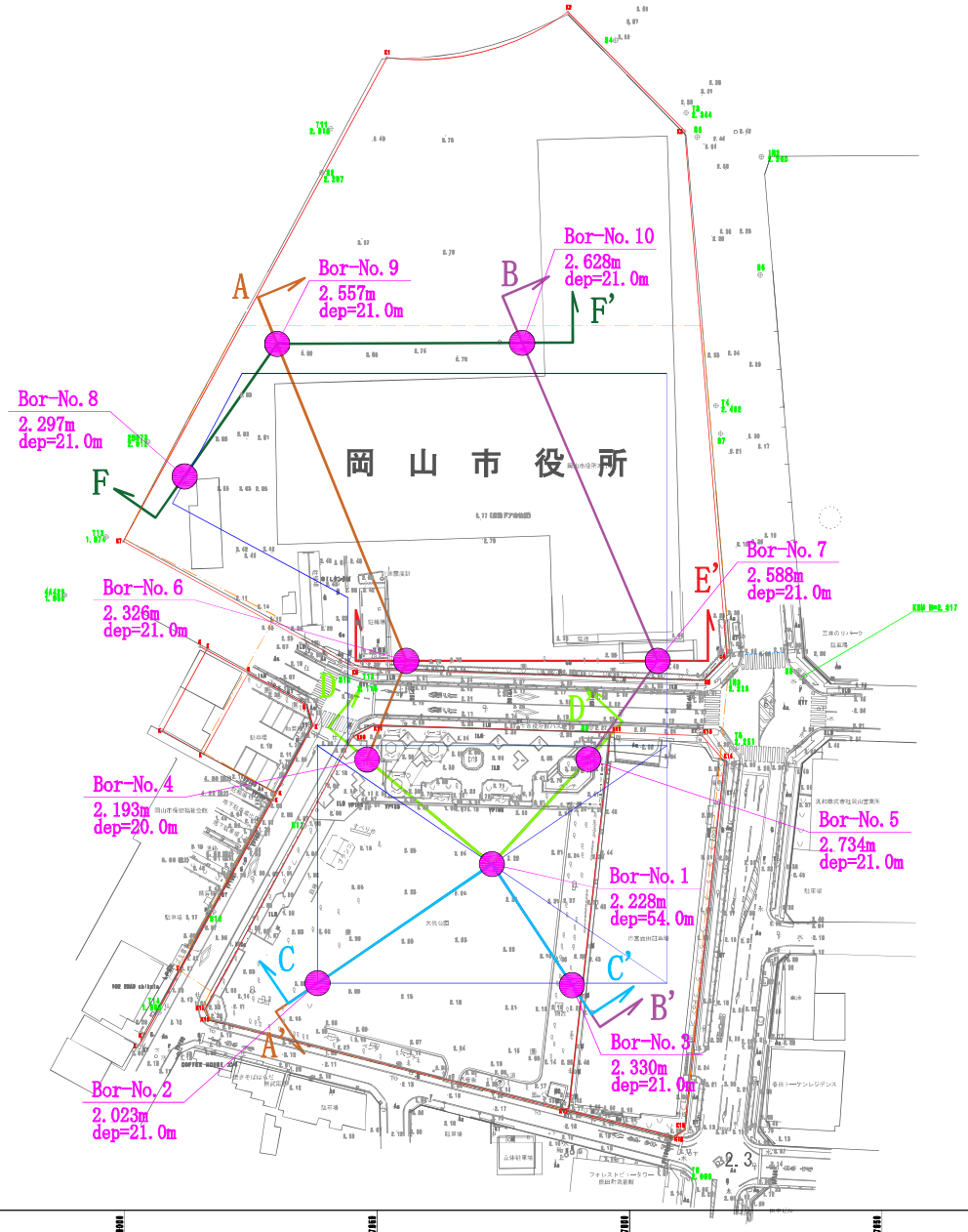
別紙１



凡例

（灰色）	花壇、樹木共残置		
（白）	アスファルト舗装 【残置】		
（斜線）	コンクリート舗装 t150 【残置】		
（交差斜線）	コンクリート舗装 t150 【撤去】 の上アスファルト舗装 【撤去】		
（密斜線）	コンクリート舗装 t150 の上石張り 【撤去】	□--------	建築雨水桝・雨水配管
（破線斜線）	再生砕石敷 【残置】	□--------	電気ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ・配管
（ブロック）	コンクリート舗装 t150の上 ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ 【撤去】	□--------	機械桝・配管
（ブロック）	コンクリート舗装 t150 ピンコロ石敷設 【一部撤去】	▦	各格子状桝は残置
（破線）	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去範囲を示す （周囲カッター切断）		

工事名	岡山市旧本庁舎解体撤去工事			(株)綜企画設計 岡山支店 岡山県知事登録第14272号
図面名	外構撤去図	縮尺	A1=1/300 A3=1/600	一級建築士大臣登録 第218333号 山本 浩
NO. ※※	岡山市総務局 総務部 新庁舎整備課	令和８年９月		〒700-0926 岡山市北区 西古松西町5番6号 TEL 086-805-6768



別紙２

ボーリング柱状図

S=1:1000

ボーリング柱状図

調　査　名　岡山市新庁舎 新築工事に伴う地質調査業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	Bor No.6	調査位置	岡山県岡山市大供一丁目1番1号 他			北緯	34° 39’ 17.16”
発注機関	岡山市 総務局新庁舎整備課			調査期間	2020年 10月 21日 ～ 2020年 10月 29日	東経	133° 55’ 09.74”
調査業者名	岩水開発 株式会社 電話（086-265-0355）	主任技師	[redacted]	現場代理人	[redacted]	コア鑑定者	[redacted]	ボーリング責任者	[redacted]
孔口標高	2.326m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	
総掘進長	21.00m					試錐機	東邦地下製 D1-C型	ハンマー落下用具	半自動落下型
						エンジン	ヤンマー製 TM120M型	ポンプ	東邦地下製 BG-3CR型

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	1.53	0.80	0.80		盛土・礫混じり砂	暗褐	中位の		GL-0.60m迄、AS及び砕石。 以深、礫混じり砂による盛土。 中砂～粗砂を主体。 φ10～30mm程度の礫を混入。
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8	-5.57	7.10	7.90		砂混じりシルト質粘土	暗灰		非常に軟らかい	粘性強く、非常に軟質な粘性土。 細砂を不均質に混入。
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15	-13.37	7.80	15.70		砂礫	灰褐	中位の～非常に密な		礫は、φ10～40mm程度の亜角礫～亜円礫を主体。 砂は、中砂～粗砂を主体。 φ80～100mm程度の硬質な玉石を点在する。 崩壊性及び透水性が著しい。
16									
17									
18									
19									
20									
21	-18.67	5.30	21.00		粘土混じり砂礫	青灰～黄褐	非常に密な		礫は、φ10～40mm程度の亜角礫～亜円礫を主体。 砂は、中砂～粗砂を主体。 非常に良く締まった砂礫地盤。

孔内水位(m)／測定月日：10/21 2.89

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1	1	1	3／30	3
1.45～2.15	1／15	1／15		2／30	2
2.45～3.15	1／30			1／30	1
3.45～4.15	1／30			1／30	1
4.45～5.00	ハンマー自沈			0／50	0
5.50～6.00	ハンマー自沈			0／50	0
6.50～7.15	1／15	1／15		2／30	2
7.45～8.15	14	10	11	35／30	35
8.45～9.15	9	10	13	32／30	32
9.45～10.15	16	13	14	43／30	43
10.45～11.15	10	10	10	30／30	30
11.45～12.15	10	11	10	31／30	31
12.45～13.15	10	10	10	30／30	30
13.45～14.15	17	14	16	47／30	47
14.45～15.15	17	15	16	48／30	48
15.45～16.15	18	19	19	56／30	56
16.45～17.15	18	21	21／7	60／27	67
17.42～18.15	20	25	13／6	58／26	67
18.41～19.15	17	14	20	51／30	51
19.45～20.15	19	20	21／8	60／28	64
20.13～21.15	47	13／4		60／14	129
21.29					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果
5.30	孔内水平載荷試験 E=2015.4(kN/m2)
9.00	現場透水試験 k=1.09E-04(m/s)
15.00	現場透水試験 k=1.44E-04(m/s)

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
				10/21
				10/22
				10/23

ボーリング柱状図

調　査　名　岡山市新庁舎 新築工事に伴う地質調査業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	Bor No.7	調査位置	岡山県岡山市大供一丁目1番1号 他			北緯	34° 39’ 17.17”
発注機関	岡山市 総務局新庁舎整備課			調査期間	2020年 11月 4日 ～ 2020年 11月 9日	東経	133° 55’ 11.69”
調査業者名	岩水開発 株式会社 電話（086-265-0355）	主任技師	[redacted]	現場代理人	[redacted]	コア鑑定者	[redacted]	ボーリング責任者	[redacted]
孔口標高	2.588m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 0° 水平 90°	使用機種	
総掘進長	21.00m					エンジン	ヤンマー製 TM120M型	ポンプ	東邦地下製 BG-3CR型
						試錐機	東邦地下製 D1-C型	ハンマー落下用具	半自動落下型

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	0.89	1.70	1.70		盛土・礫混じり砂	暗褐	緩い		GL-0.20m迄、ｺﾝｸﾘｰﾄ。 以深、礫混じり砂による盛土。 中砂～粗砂を主体。 φ20～50mm程度の礫を混入。
2	-1.11	2.00	3.70		礫混じりシルト質砂	暗灰	緩い		細砂～中砂を主体。 礫は、φ20～50mm程度の角礫を混入。 シルトを不均質に混入。
4	-7.21	6.10	9.80		砂混じりシルト質粘土	暗灰		非常に軟らかい	粘性強く、非常に軟質な粘性土。 細砂を不均質に混入。
10	-12.91	5.70	15.50		砂礫	灰褐	密な～非常に密な		礫は、φ10～50mm程度の亜角礫～亜円礫を主体。 砂は、中砂～粗砂を主体。 φ80～100mm程度の硬質な玉石を点在する。 崩壊性及び透水性は、著しい。
16	-18.41	5.50	21.00		粘土混じり砂礫	黄褐灰	非常に密な		礫は、φ10～50mm程度の亜角礫～亜円礫を主体。 砂は、中砂～粗砂を主体。 粘土を不均質に混入。 非常に良く締まった砂礫地盤。

孔内水位(m)／測定月日：11/4 1.45

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	2	3	3	8／30	8
1.45					
2.15	1	1	1	3／30	3
2.45					
3.15	2	1	1	4／30	4
3.45					
4.00	ハンマー自沈			0／50	0
4.50					
5.00	ハンマー自沈			0／50	0
5.50					
6.00	ハンマー自沈			0／50	0
6.50					
7.00	ハンマー自沈			0／50	0
7.50					
8.00	ハンマー自沈			0／50	0
8.50					
9.15	1	1	1	3／30	3
9.45					
10.15	16	13	11	40／30	40
10.45					
11.15	8	11	12	31／30	31
11.45					
12.15	10	12	14	36／30	36
12.45					
13.15	17	16	20	53／30	53
13.45					
14.15	16	12	8	36／30	36
14.45					
15.15	10	12	15	37／30	37
15.45					
16.15	12	19	22	53／30	53
16.45					
17.15	15	17	18	50／30	50
17.45					
18.15	55	5／2		60／12	150
18.27					
19.15	29	31		60／20	90
19.35					
20.15	18	17	16	51／30	51
20.45					
21.15	20	17	15	52／30	52
21.45					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（〇）	掘進月日
1.15	71-1	㊀	粒度	
1.45				
2.15	71-2	㊀	粒度	
2.45				
6.00	71-1	㊀	物理 三軸 圧密	11/4
6.80				
11.15	71-11	㊀	粒度	
11.45				
				11/5
				11/6

ボーリング柱状図

調　査　名　岡山市新庁舎　新築工事に伴う地質調査業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	Bor No.8	調査位置	岡山県岡山市大供一丁目1番1号　他			北緯	34° 39’ 18.34”
発注機関	岡山市　総務局新庁舎整備課			調査期間	2020年 10月 13日 ～ 2020年 10月 15日	東経	133° 55’ 08.01”
調査業者名	岩水開発　株式会社 電話（086-265-0355）	主任技師	[redacted]	現場代理人	[redacted]	コア鑑定者	[redacted]	ボーリング責任者	[redacted]
孔口標高	2.297m	角度	180°上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機	東邦地下製　D1-C型	ハンマー落下用具	半自動落下型
総掘進長	21.00m								エンジン	ヤンマー製　TM120M型	ポンプ	東邦地下製　BG-3CR型

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
1	1.10	1.20	1.20		盛土・礫混じり砂	褐灰			上部アスファルト及び砕石。 以深、礫混じり砂による盛土。 中砂～粗砂を主体。φ10～30mm程度の角礫を混入。	
2	-0.20	1.30	2.50		砂混じり粘土	褐		軟らかい	含水比低く、やや軟質な粘性土。 細砂～中砂を混入。	10/13 2.45
3										
4										
5					シルト質粘土	暗灰		非常に軟らかい	粘性強く、含水比が高い、非常に軟質な粘性土。 GL-4m付近に細砂を多く混入。	
6										
7										
8										
9	-6.80	6.60	9.10							
10					砂礫	灰褐	中位の～密な		礫は、φ10～40mm程度の亜角礫～亜円礫を主体。 砂は、中砂～粗砂を主体。 φ80～100mm程度の硬質な玉石を点在する。 透水性及び崩壊性が著しい。	
11										
12										
13										
14										
15	-13.40	6.60	15.70							
16					粘土混じり砂礫	青灰～黄褐	非常に密な		礫は、φ10～40mm程度の亜角礫～亜円礫を主体。 砂は、中砂～粗砂を主体。 粘土を不均質に混入。 良く締まった砂礫地盤。	
17										
18										
19										
20										
21	-18.70	5.30	21.00							

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1	1	1	3／30	3
1.45～2.15	1	1	1	3／30	3
2.45～3.00	1／50			1／50	1
3.50～4.00	1／50			1／50	1
4.50～5.00	ハンマー自沈			0／50	0
5.50～6.00	ハンマー自沈			0／50	0
6.50～7.00	ハンマー自沈			0／50	0
7.50～8.00	ハンマー自沈			0／50	0
8.50～9.15	8	8	9	25／30	25
9.45～10.15	13	11	10	34／30	34
10.45～11.15	12	8	7	27／30	27
11.45～12.15	7	9	6	22／30	22
12.45～13.15	6	8	13	27／30	27
13.45～14.15	12	11	10	33／30	33
14.45～15.15	10	14	16	40／30	40
15.45～16.15	16	16	18	50／30	50
16.45～17.15	19	22	19／9	60／29	62
17.44～18.15	23	28	9／3	60／23	78
18.38～19.15	33	18	9／5	60／25	72
19.40～20.15	16	16	18	50／30	50
20.45～21.15	24	22	16／5	62／25	74
21.40					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）
2.15	84-2	㊀	粒度
2.45			
5.00	84-5	㊀	粒度
5.50			
9.15	84-9	㊀	粒度
9.45			

掘進月日：10/13（深度 10.15 m）、10/14（深度 21.15 m）

ボーリング柱状図

調　査　名　岡山市新庁舎 新築工事に伴う地質調査業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	Bor No.9	調査位置	岡山県岡山市大供一丁目1番1号 他			北緯	34° 39’ 19.19”
発注機関	岡山市 総務局新庁舎整備課			調査期間	2020年 10月 8日 ～ 2020年 10月 13日	東経	133° 55’ 08.72”
調査業者名	岩水開発 株式会社 電話（086-265-0355）	主任技師	[redacted]	現場代理人	[redacted]	コア鑑定者	[redacted]	ボーリング責任者	[redacted]
孔口標高	2.557m	角度	180°上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	試錐機	東邦地下製 D1-C型	ハンマー落下用具	半自動落下型
総掘進長	21.00m								エンジン	ヤンマー製 TM120M型	ポンプ	東邦地下製 BG-3CR型

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
1					盛土・礫混じり砂				GL-0.60m迄、AS及び砕石。 GL-0.90m迄ｺﾝｸﾘｰﾄ。GL-1.50m迄改良土。 以深、礫混じり砂による盛土。 中砂～粗砂を主体。 φ10～30mm程度の礫を混入。	
2	0.26	2.30	2.30			中位の				10/8 2.57
3					砂混じりシルト質粘土	暗灰		非常に軟らかい	粘性強く、非常に軟質な粘性土。 細砂を不均質に混入。	
10	-7.34	7.60	9.90							
11					砂礫	灰褐	中位の～非常に密な		礫は、φ10～40mm程度の亜角礫～亜円礫を主体。 砂は、中砂～粗砂を主体。 φ80～100mm程度の硬質な玉石を点在する。 崩壊性及び透水性が著しい。	
15	-12.94	5.60	15.50							
16					粘土混じり砂礫	青灰～黄褐	非常に密な		礫は、φ10～40mm程度の亜角礫～亜円礫を主体。 砂は、中砂～粗砂を主体。 非常に良く締まった砂礫地盤。	
21	-18.44	5.50	21.00							

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)
1.15	4	5	4	13／30
1.45～2.15	1／15	1／15		2／30
2.45～3.00	ハンマー自沈			0／50
3.50～4.00	ハンマー自沈			0／50
4.50～5.00	ハンマー自沈			0／50
5.50～6.00	ハンマー自沈			0／50
6.50～7.00	ハンマー自沈			0／50
7.50～8.15	1／30			1／30
8.45～9.15	1／30			1／30
9.45～10.15	7	7	9	23／30
10.45～11.15	32	15	13／7	60／27
11.42～12.15	18	23	13	54／30
12.45～13.15	17	16	19	52／30
13.45～14.15	14	14	18	46／30
14.45～15.15	16	14	17	47／30
15.45～16.15	18	15	18	51／30
16.45～17.15	16	15	19	50／30
17.45～18.15	17	15	18	50／30
18.45～19.15	16	19	25／6	60／26
19.41～20.15	20	34	6／3	60／23
20.38～21.15	17	18	15	50／30
21.45				

N値 0 10 20 30 40 50 60

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果
8.00	孔内水平載荷試験 Em=2411.5(kN/m2)
10.00	現場透水試験 k=1.02E-04(m/s)
15.00	現場透水試験 k=1.67E-04(m/s)

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法

室内試験（ ）

掘進月日
10/8
10/9
10/12

ボーリング柱状図

調　査　名　岡山市新庁舎 新築工事に伴う地質調査業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	Bor No.10	調査位置	岡山県岡山市大供一丁目1番1号 他			北緯	34° 39’ 19.21”
発注機関	岡山市 総務局新庁舎整備課			調査期間	2020年 10月 14日 ～ 2020年 10月 日	東経	133° 55’ 10.63”
調査業者名	岩水開発 株式会社 電話（086-265-0355）	主任技師	[redacted]	現場代理人	[redacted]	コア鑑定者	[redacted]	ボーリング責任者	[redacted]
孔口標高	2.268m	角度	180°上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	
総掘進長	21.00m					エンジン	ヤンマー製 TM120M型	ポンプ	東邦地下製 BG-3CR型
						試錐機	東邦地下製 D1-C型	ハンマー落下用具	半自動落下型

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	1.27	1.00	1.00		盛土・礫混じり砂	暗褐			GL-0.60m迄、AS及び砕石。 以深、礫混じり砂による盛土。 中砂～粗砂を主体。 φ10～30mm程度の礫を混入。
2	-0.63	1.90	2.90		粘土	暗褐		中位の	含水比がやや低く、やや硬い粘性土。
3					砂混じりシルト質粘土	暗灰		非常に軟らかい	粘性強く、非常に軟質な粘性土。 細砂を不均質に混入し、GL-1m付近は特に多く混入。
10	-8.53	7.90	10.80						
11					砂礫	灰褐		中位の～密な	礫は、φ10～40mm程度の亜角礫～亜円礫を主体。 砂は、中砂～粗砂を主体。 φ80～100mm程度の硬質な玉石を点在する。 崩壊性及び透水性が著しい。
15	-13.53	5.00	15.80						
16					粘土混じり砂礫	青灰～黄褐		非常に密な	礫は、φ10～40mm程度の亜角礫～亜円礫を主体。 砂は、中砂～粗砂を主体。 非常に良く締まった砂礫地盤。
21	-18.73	5.20	21.00						

孔内水位(m)／測定月日：10/14 2.76

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	2	2	3	7/30	7
1.45～2.15	2	2	2	6/30	6
2.45～3.00	ハンマー自沈			0/50	0
3.50～4.15	1/15	1/15		2/30	2
4.45～5.00	ハンマー自沈			0/50	0
5.50～6.00	ハンマー自沈			0/50	0
6.50～7.00	ハンマー自沈			0/50	0
7.50～8.00	ハンマー自沈			0/50	0
8.50～9.00	ハンマー自沈			0/50	0
9.50～10.15	1/15	1/15		2/30	2
10.45～11.15	11	10	9	30/30	30
11.45～12.15	7	8	4	19/30	19
12.45～13.15	14	12	13	39/30	39
13.45～14.15	15	12	15	42/30	42
14.45～15.15	12	17	20	49/30	49
15.45～16.15	18	17	16	51/30	51
16.45～17.15	21	39/8		60/18	100
17.33～18.15	18	17	15	50/30	50
18.45～19.15	20	16	16	52/30	52
19.45～20.15	11	17	23	51/30	51
20.45～21.15	18	20	19	57/30	57
21.45					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（～）
2.00～2.80	100-1	ⓓ	物理 三軸圧密
7.00～7.80	100-2	①	物理 三軸圧密
12.15～12.45	100-12	㊀	粒度

掘進月日：10/14～10/15